

【文話】八分

T 今日のは作文を書いて、来週は作文で勉強します。  
T 頑張ったことの作文を読ませていただきました。すばらしかったのは、まず字です。しっかりと力を入れた字を書いていた。字が上手になることで大事なことは、力を入れて書くこと。もう一つは、まずいっぱい大きく書くことです。へえ、そうなんだと思った人はチャレンジしてみてください。

T 皆さん、いろんな頑張りがありました。三年、新しい勉強にアタックしようと頑張った人が何人かいました。それから、難しくできなかったことを、できるようになるまで頑張った人が多くいました。

その中には、同じことを繰り返したのではなく、なぜ、どうしてできるようになるか、知恵を使って頑張った。大した知恵がある。

助け合ったらもううまくいく。相手の気持ちを考えてからやるとうまくいく。知恵があつて、心もある三年生だと思いましたが。今日の作文が楽しみです。

T 今日頑張ってほしいことが二つあります。一つは、二学期、縦に書くのは何で書くのがいいですか？

C 漢字で書きます。

T (黒板の2学期の2を二と書く。)

T これから猫の紹介をします。私は猫を飼っていて、○○いて、○○いて…。このように、ずらずらとつなげて書いていくと、だんだんと何のことが分からなくなる。今日は皆さん、短く、丸で切って書いてほしいです。

T (わたしは、ねこをかっています。名前をとらです。と板書)

T このように わたしは てん ねこをかっています まるの ように、短く切って書いてほしいです。

【文題】十七分

T 今日書く作文の題を決めてきた人はいますか。

C コンパスで円をかくことです。

T 短い方がいいので、コンパスの円としましょう。

T (コンパスの円と書く)

T 円をかくのを苦労したんですね。難しいものをクリアできるように頑張ったんですね。

C 習い事を頑張りたいこと。

T どんな習い事？

C 柔道。

T 分かりやすい題は、柔道としますか（柔道と板書）。

T いつから？

C 二年生。

T （柔道で）難しいことは？

うまくいってスカツとしたことはありますか。そういうものを紹介してもらって。今のように習い事をやっているものあるでしょうし。コロナで習い事ができない状態のことでもいいし、今、習い事他にもやっている人もいるかも知れませんか。

それから飼っている○○もあるかも知れません。自分の好きなスポーツもあるかも知れません。その他に、こういうのを書いてみたいというのが浮かんだのありますか？

C ゲームのこと。

T 外に出られないこともあるから、ゲーム強いのもあるかも知れませんが。どんなゲーム？

C （ニンテンドー）スイッチです。

T こうやるとうまくいくっていうのもあるの？

C はい。

C 僕は絵の教室を習っているので、絵の教室のことを書くこう思っていました。題は、頑張った絵。

T さっきのゲームで題はどうしようかな？そこまで考えておく？

C うん。

T （絵のことを言った児童に）さきほどの題にする？

T 頑張った絵。

T （がんばったえ と板書）あと、こういうのにしたいと決まった人いますか？

C 空手。

T （題は）空手でいい？

C いい。

T ここを頑張っているというのも伝えてください。あと、決まった人いますか？

C もう一回言ってもいいですか？

T はい。

C 水泳で○級になったこと。

T （題を）どっちにするか決めてね。

C 恐竜について知ったこと。

T いろいろ調べたの？みんなに紹介してあげたら、仲間が増えるかも。そろそろ決まってきた人は？

- C ペットのこと。
- T 何を飼っているの？
- C インコ。
- T だんだん自分の書きたいことが決まってきましたか？そろそろ決めたことを題にして心に入れてください。
- T これから、皆さんに作文を書いてもらうのですが、消しゴムは使わなくても大丈夫かな。間違ったらこのように（―を書いて）隣の道に正しいのを書いてください。分からないことはそっと聞きに来て、足りなくなったらもらいにきてください。

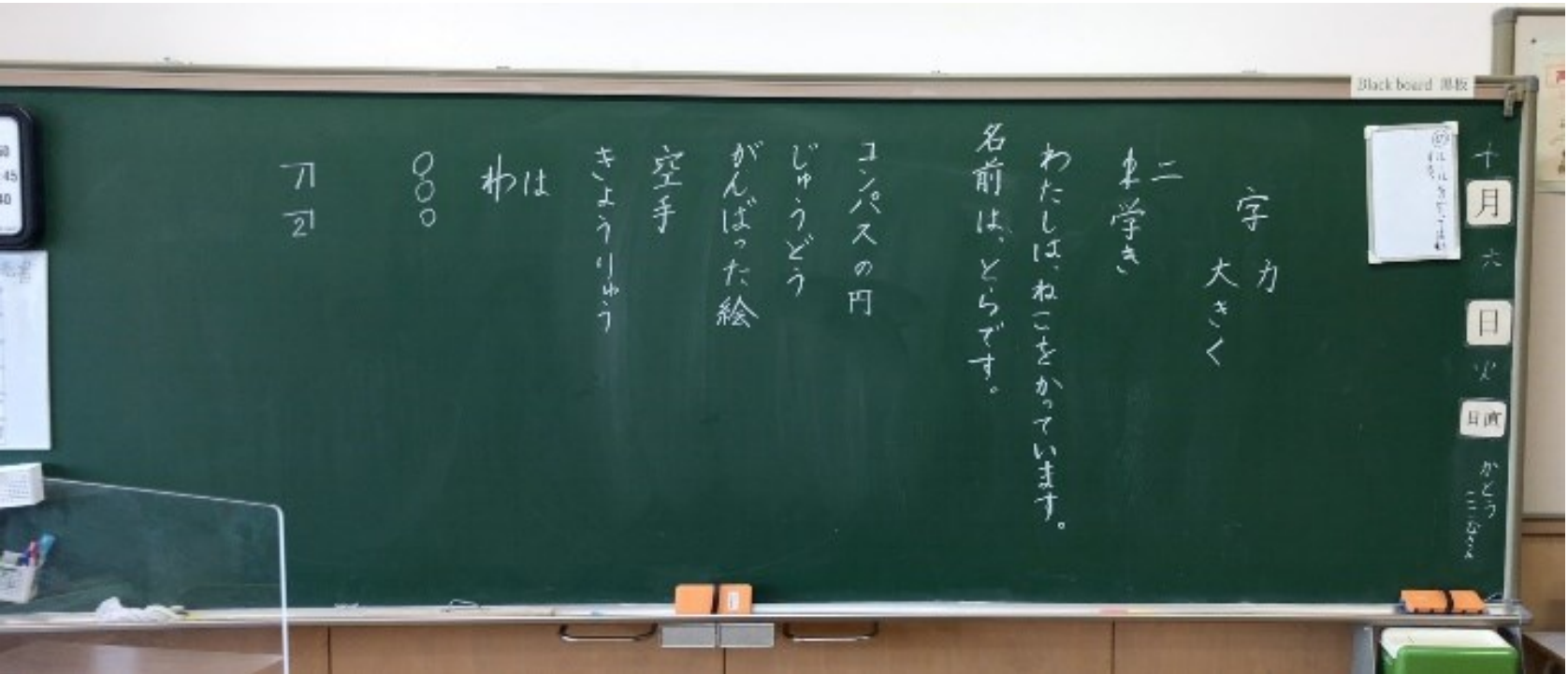
【記述、自己批正】十七分

- T これから十時十五分まで書いてください。あと五分になったら声を掛けますので、書いてください。用意はいいですか。
- C はい。
- T 一行目、上から三ます空けて、四コマめから題を書いてください。では、二行目、下の方に名前を書いてください。では、名前もいいようですね。三行目、一ます空けて書いてください。
- C 題って何ですか？
- T 書きたいものは決まった？
- C まだ。
- C （全員、作文を書き始める。）
- C 間違って〇〇に書いてしまった。
- T 大丈夫ですよ、ちゃんと書きましたね。
- T （教室の前方で）うなずきながら全体を見守る。
- C （子供たちは）真剣に書き、鉛筆の音だけが響く。
- C 二枚目の原稿用紙を取りに行く子供あり。
- T （教室の前方で）全体を見渡しながら待つ、見守る。

【提出】三分

- T そろそろ時間です。どうしても終わられない人は「つづく」と書いてください。
- C どこに？
- T はい、その（終わった）隣の行に。脇の方でもいいですよ。どちらでもいいですよ。
- T 二枚書いた人は、右の上の所に一枚目、二枚目と番号を書いてください。二枚目の下の方にも名前を書いてください。そこまでできたら、書いた字が見えるように二つに折ってください。





- T 二枚書いた人がたくさんいたので、大丈夫ですか？
  - T 準備できた人から持ってきてください。
  - C (一人一人前に持って行く。)
  - T (両手で声を掛けながら大事に受け取る。)
  - T しっかり読ませていただいて、次、勉強しましょう。
- ありがとうございます。